

包括連携協定を結ぶ

和水町・玉名市・箱根町



左から高巢町長(和水町)、勝俣副町長(箱根町)、蔵原市長(玉名市)

8月20日、日本マラソンの父、金栗四三さんの128回目の誕生日に、金栗四三生家記念館で、和水町と玉名市は神奈川県箱根町とそれぞれ包括連携協定を締結しました。箱根駅伝の創設に大きく貢献した金栗四三さんの縁に導かれ、観光、スポーツなどの分野で友好と親善を深めるとともに、防災の分野でも相互に協力することとなりました。

高巢町長は「3市町で共に発展していきたい」と述べ、調印式終了時には、生誕を記念し128個の風船を飛ばし、地域住民の皆さんと共に金栗四三さんに感謝しました。

これからの活躍に期待

石原さんと坂本さんが新規就農者に



石原一輝さん



坂本勝太さん

今年から石原一輝さん(和仁)と坂本勝太さん(高野)の二人が新規に就農しました。

石原さんは、「現在、水稻とナスを栽培していますが、今後はいちごを栽培していきたいと思っています」と抱負を述べました。

坂本勝太さんは、「現在、肉用牛(繁殖)を3頭飼育しています。将来は、30頭飼育することを目標に頑張っています」と意気込みを語りました。

和水町の農業の担い手となったお二人の今後の活躍を期待します。

力を合わせてつかんだ勝利

菊水西小学校 県大会でV



県大会で優勝した菊水西子ども会

キャプテンの坂本華七さんは、「4年生から始めましたが、最初は力がなくボールを返せませんでした。でも昨年Aパートで出場し県大会3位という結果を残すことができたので、今年はチーム全員で『県大会で絶対優勝する』という目標を決め毎日コツコツと練習を頑張ってきました。西小学校最後の思い出を残すことができました」と話しました。

8月24日、上天草市で、熊本県子ども会連合会ビーチボールバレー大会が開催され、菊水西子ども会が出場し、見事、優勝しました。

監督の坂本健一さんは、「県大会で優勝できたのは、2年生から6年生の子どもたちの頑張りはもちろん、コーチ、保護者の皆さんの協力と小学校に練習環境を整えていただいたおかげ。この大会は、子どもたちがスポーツを通して他校生との交流できる場であり、目標に向かって真剣に物事に取り組むことを学び、経験する場。子どもたちの心の糧となるよう今後も継続して参加していきたいと思います」と語りました。

和水町の2つの団体が受賞

清掃等維持管理活動表彰式

7月18日、清掃等維持管理活動表彰式が、玉名地域振興局で行われました。

熊本県が今年度から新たに行うもので、熊本県内の同県所管の公共土木施設など(道路や河川など)の清掃、除草などのボランティア活動の功績が顕著で、他の模範となる団体などを、玉名地域の優良団体として表彰するものです。

今年度は玉名地域で3団体が受賞し、そのうち和水町の団体が2団体(菊水ボランティアの会、有限会社高岡建設)受賞しました。

両団体とも、大牟田植木線(用木、萩原)での活動が評価されました。



高岡義正代表取締役(写真左)と木原道代会長(写真左から3番目)

みんなで一緒に盆踊り

夏祭り盆踊り大会

8月13日、夏祭り盆踊り大会が、役場総合支所裏多目的広場で開催されました。

今年はくまモンとなごみんが参加し、多くの出演者と共に八つの神様音頭を踊りました。

また、和水町出身のシンガーソングライターひらりさんによるゲストライブや、参加者全員で踊る盆踊り(菊水音頭・三加和音頭)、お楽しみ抽選会などが行われました。

最後には、会場のすぐそばから花火が上がり、夜空に浮かぶ大輪の花に大きな歓声が沸き起こっていました。



八つの神様音頭を踊る地域住民とくまモン
©2010 熊本県くまモン

なごみん・火巫女も登場

きくすい荘夏祭り

8月17日、和水町デイサービスセンターで、きくすい荘夏祭りが開催されました。

今年は、町のマスコットキャラクター「なごみん」と火巫女のステージでの共演が実現し、会場はとても盛り上がりしました。

各種団体の歌や踊りなどを見ながら、利用者の人たちは一緒に歌ったり、手拍子をしたりして、年に一度の祭りを楽しんでいた。

屋外の出店もあり、たくさんの来場者でにぎわい、とても楽しい夜になりました。



ステージに登場したなごみん